

【平均額変動型最低制限価格算定の参考例】

(工事案件事例)

- ・ 予定価格(税抜き) 30,000,000円
- ・ 算定対象金額25,500,000円以上 (予定価格(税抜き)×85%)
- ・ 入札額 (税抜き)
 - A社25,300,000円 (平均額算定対象外) (失格)
 - B社25,400,000円 (平均額算定対象外) (落札者)
 - C社25,900,000円
 - D社29,000,000円
 - E社29,700,000円(平均額算定対象)
- F社33,000,000円 (無効：予定価格超過)

① 予定価格超過のF社は無効

② 85%未満のA、B社は平均額算定対象外

③ C社～E社が対象となり、合計84,600,000円を3社で割った28,200,000円に90%を乗じた25,380,000円が最低制限価格となる。

④ 最低制限価格を超えるB社が25,400,000円で落札する。

※ 平均額算定対象外であっても、平均額×90%を行うことでB社が落札者となる場合がある。

※ 算定対象が2者以下の場合は、最低制限価格を適用しません。